

2017年11月16日
クルーズ株式会社

本日のリリースに関する補足説明資料

本資料は、今回の取り組みの意図をより分かりやすくご理解いただくため、
Q&A 方式にて、補足説明をさせていただくための資料です

今回の取り組みの位置づけ

クルーズグループの持続的な成長及び企業価値向上のため
下記の3つを重点戦略として掲げています

- ① SHOPLIST をファストファッション EC 分野を代表するブランドへ
- ② SHOPLIST に続く第2、第3の柱を創出すべく新規事業へ投資
- ③ 機動的に可能性のある新規チャレンジを数多く生み出し続ける

今回の取り組みは、これら重点戦略のひとつとして

- ① に該当する「SHOPLIST 事業」に関するものとなります

Q：今回のリリースはつまり、どういうことなのか？

A：ファストファッション通販『SHOPLIST.com by CROOZ』（以下、SHOPLIST）にて、ユーザー様の利便性を高めるために、商品購入代金のお支払いが3ヶ月後となる新決済サービス「超あと払い」の試験運用を2017年11月16日より開始したというものです。

Q：「超あと払い」についてもう少し詳しく教えてもらえないか？

A：「超あと払い」は、持ち合わせがなくても「今すぐ」SHOPLISTでお買い物を楽しみたいユーザー様に向けて提供する割賦販売法に基づいた新しい決済サービスです。商品購入代金のお支払いが3ヶ月後（月末締め翌々月の銀行・コンビニ支払いだと10日。口座振替だと12日に引き落とし）と期間が長く、持ち合わせがなくてもその場で購入する事ができます。お支払い方法はコンビニエンスストア・銀行振込となり、クレジットカードをお持ちでない方にも安心してご活用いただけます。

Q：なぜ「超あと払い」のサービスを導入するのか？

A：新規ユーザーの獲得が大きな目的です。ユーザー様の多様なニーズに応え、利便性を向上することにより、まだSHOPLISTを利用したことがない方に対して、安心してSHOPLISTでショッピングを楽しんでいただける機会を提供します。

Q：想定されるメリットはなにか？

A：ユーザー様のメリットとしては、支払いが注文日から3ヶ月後となるため、持ち合わせがなくても欲しいと思ったその時に商品を購入することができる点がメリットです。さらに、支払い方法をコンビニエンスストア・銀行振込、または口座振替の中から、都合のいいものを選ぶことができるため、クレジットカードをお持ちでない方にも安心してサービスを利用していただけるといったメリットがあります。

また、SHOPLISTのメリットとしては、前述のとおり、利便性が向上することにより、まだSHOPLISTを利用したことがない新規ユーザーの獲得や既存ユーザーの活性化が期待できます。

Q：反対にリスクとしては、どんなことが想定されるのか？

A：支払いの滞納により、利用者の信用情報に未払いの記録として登録され、その結果、将来的にクレジットカードや各種ローンを申し込んだ時に審査が通らなくなるといったリスクが想定されます。例えば、未成年などがサービスの内容を十分に理解せずサービスを利用し、支払いの滞納に発展した場合、その情報は個人信用情報機関に未払い情報として登録され、将来的にクレジットカードや住宅ローンを利用できなくなるといった影響が出る可能性があります。

Q：そのようなサービスを未成年や支払い能力の低い人に提供して大丈夫なのか？

A：支払い能力に問題がないと判断された人にしかサービスは提供しませんのでご安心ください。「超あと払い」は、割賦販売法の適用対象となるため、サービスの利用にあたっては、クレジットカードの作成時と同等の審査を行っていただくことになります。つまり、利用者の信用情報の照会・登録を行い、審査の結果、支払能力などに問題ないことが確認できたユーザー様にのみサービスを提供します。このように審査を行うことで、支払遅延などのリスクを防止し、ユーザー様の利益保護を図ります。

Q：未成年や子どもが保護者の知らないところで利用してしまうリスクはないのか？

A：サービス利用に年齢制限を設けるため、リスクは最小限となります。今回の試験運用では、19歳以上の一部のユーザーに範囲を限定し導入します。また、未成年者に対しては、必ず保護者の同意を得た上で利用する旨、利用ページにて注意喚起を行い、保護者の同意を得たことを確認するチェックボックスにチェックを入れなければサービスを利用できない仕様となっています。

なお、19歳以上の全ユーザーや19歳未満の未成年へのサービス提供については、検証・改善を行いながら、慎重に検討を加え、今後利用可能な範囲を広げていく方針です。

Q：正式に運用が開始されるのはいつ頃なのか？

A：現段階では未定です。2018年春頃までをめどにサービス範囲を拡大し、正式運用開始を目指します。

■この取り組みに関する今後の IR またはリリースについて
当社グループでは、新規チャレンジの継続的な IR またはリリースの方針について3つの基準を定めています。

継続的にその状況を報告する取り組み

- ① 全社の売上に10%以上の影響があると自信が持てた取り組み
- ② 現時点での成功確度は分からないが、事業を取り巻く環境の様々な点を鑑みて、うまくいった時に全社業績へ大きなインパクトを与える可能性のある取り組み

現時点では継続的な状況報告を行わない取り組み

- ③ うまくいった時に、全社業績へ大きなインパクトを与える期待はあるものの、現時点でインパクトの大きさも成功確度もあまりにも未知数な取り組み

今回の取り組みにつきましては、複数あるチャレンジのうちの一つであり、現時点では、②に該当すると考えているため、進捗があれば、IR 掲示板やリリース、決算説明資料など適切な方法を通じて、ご報告してまいります。

以上